



明新館通信

日日新又日新 日日新に 又日に新をなれ

平成25年度第11号
霜月の吉(通巻74号)
山形県立上山
明新館高等学校
山形県上市市仙石650番地
TEL 023(672)1700
URL <http://www.meishinkan-h.ed.jp/>
平成25年11月11日(月)発行

<行事予定>

<11月>

- 1日(金) 安全の日
- 2日(土) 県高校新人大会後期
地区新人大会(バレー・バス)
- 3日(日) 文化の日
- 4日(月) 振替休日
- 5日(火) 献血 教育課程検討委員会
- 6日(水) 県高校初任研会場
- 7日(木) 月曜授業
ふれあいトーク上山
- 8日(金) 2・3年進研模試
ｽｰﾙｶｯｼﾞｰ来校日
- 9日(土) 1・2・3年進研模試
1・2年実力診断テスト
- 10日(日) 全商珠算電卓検定
- 11日(月) 校内ﾌﾟﾛｼﾞｯｸ発表会
中間反省会 AED講習
短縮授業 学習時間調査
- 12日(火) 山大・農大・農校シンポ
修学旅行前健康相談
生徒会ﾘｰﾀﾞｰ研修会
- 13日(水) 就職未内定者ｶｯｷﾘｸﾞ
- 14日(木) 1年進路講話
- 15日(金) 適応指導委員会⑥
- 16日(土)
- 17日(日) 日商簿記検定
- 18日(月) 2年生4校時まで
- 19日(火) 修学旅行
- 20日(水)
- 21日(木) 1年進路ガイダンス
- 22日(金)
- 23日(土) 勤労感謝の日
- 24日(日) 日商ﾋﾞｼﾞﾝｽ初文書検定
- 25日(月)
- 26日(火) 課長主任会
- 27日(水) 県農ｸﾞﾙｰﾌﾟ発表会
- 28日(木) 職員会議
ｽｰﾙｶｯｼﾞｰ来校
- 29日(金) 教育課程検討委員会
- 30日(土)

平成25年10月25日 山形県立上山明新館高等学校

堂々！学校創立20周年

生徒833名 来賓・実行委員他250名 記念式典・記念講演・記念祝賀会を盛大に挙行

去る10月25日、山形県立上山明新館高等学校創立20周年記念式典が盛大に挙行されました。

生徒、来賓、職員、PTA等関係者千名を超える出席者の元、記念事業で購入していただいた、楽器の披露を兼ね、吹奏楽の記念演奏で式典が始まりました。

式典は、山形県教育庁総務課教職員室管理主幹津田浩氏、上市市長横戸長兵衛氏をはじめ、多くの御来賓の御臨席のもと、三澤裕之校長先生が「生徒諸君は、学校創立に係った多くの方々の思いに支えられながら、学校生活を送っていることを胸に刻んで欲しい」と式辞を述べられ、833名の生徒、職員一同、気持ちを新たにしました。



また、創立20周年記念事業実行委員長の荒井進同窓会長の挨拶、御来賓の祝辞、最後の生徒を代表して生徒会長の桜井悠雅さんが、「日ごろお世話になっている地域の方々に感謝を込め、さまざまな形で地域貢献し、恩返ししていくことが大切です」と今後に向け決意を述べました。

式典の締めくくりは参加者全員による校歌斉唱。大きな声で胸を張って堂々と校歌を歌う生徒諸君に上山明新館の生徒であることの誇りを強く感じた式典になりました。

(裏面に続く)



知事よりお祝いのメッセージ

お祝いメッセージ

山形県立上山明新館高等学校創立二十周年の御祝典、誠におめでとうございます。

上山明新館高等学校は、平成五年に上山農業高校と上山高校を母体として、県内最大規模の高等学校として開校して以来、「日新又日新」の校訓のもと、社会を担う有為な人材の育成に大きな役割を果たしてまいりました。

この間、卒業生は国内外で活躍され、オリンピックやプロスポーツで活躍する選手も輩出してまいりました。生徒の皆さんもよく伝統を受け継ぎ、本分である学習面に加え、部活動での輝かしい成果を収めており、本県のめざす「人づくり」を実践されていることは、誠に喜ばしい限りであります。

今ここに、記念となる節目を迎え、新たな時代に向かう村山地区の教育の拠点として、校長先生はじめ皆様方の更なる飛躍を心からお祈りいたします。

平成二十五年十月二十五日

山形県知事 吉村美栄子

チャレンジ精神を忘れずに！ 記念講演 乙武洋匡さん

POINT 注！意 不審な電話



式典終了後から、PTAの一般参加者250名を加え、総勢千三百名が参加しての生徒発表、記念講演会が行われました。

生徒発表では、「縁(ゆかり)」と題し、パワーポイントを使って、創立当時から今までを振り返るとともに、本校に勤務する先輩方の紹介から、バトンを受け継ぐ今活躍が期待される生徒の紹介と決意がまとめられており、思わず顔がほころんでしまう高校生らしい楽しい構成で、大変好評でした。

記念講演会は、講師に作家の乙武洋匡さんを迎え、「チャレンジ精神を忘れずに」と題して、1時間半にわたり講演をいただきました。

電動車椅子でさっそうと登場した乙武さんは、自らの子供時代からの体験や、作家・キャスター・教師としての経験を踏まえ、「自分が色々なことにチャレンジしない“いいわけ”はいくらでも作れる。まずやってみることに、チャレンジすることが大切なのではないか」と話され、ユーモアたっぷりの講演に、会場全体が乙武ワールドに引き込まれました。食い入るように見つめる生徒諸君が、乙武さんから“勇気”と“感動”を頂いた素晴らしい講演会になりました。



10月17日頃から、本校の同窓会や事務職員を名乗って、本校卒業生の自宅に電話し、「名簿を作成するため」と偽って現住所や職業、電話番号等を聞きたいという不審な電話が何件もあり、保護者から学校に問い合わせがありました。

本校ではそのような電話での問い合わせは一切行っておりません。また、本校同窓会および同窓会名簿作成をお願いしている業者も基本的に電話で個人情報を聞き出すような行為は行っていません。

もし、そのような電話があった場合は、対応しないで、一度電話を切って、学校 TEL023-672-1700 上山明新館高等学校の教頭まで、確認のお電話をいただければと思います。

警察にもすでに届け出ておりますが、不審電話は非通知で、偽名を使っておりますので、“おかしいな”と思ったら対応しないように重ねてお願いします。

また、お友達で連絡できる方がございましたら、教えていただければと思います。ご迷惑をおかけしておりますが、なにとぞよろしくお願いいたします。

創立20周年記念事業 トレーニングセンター設置・吹奏楽部楽器整備他

創立20周年を記念事業として、同窓生・一般企業・PTA・旧職員現職員他関係者より協力金を頂き、トレーニングセンターの設置、吹奏楽部の楽器整備等を行ないました。

また、生徒による記念事業として応援タオルの製作と全校一斉ボランティアの取組みが行われました。



盛大に！記念祝賀会

かみのやま温泉日本の宿「古窯」紅の花ホール

場所を かみのやま温泉日本の宿「古窯」紅の花ホールに移し、盛大に記念祝賀会が開催されました。

開会に先立ち、 Duo Luna (ヴァイオリン 駒込綾 ピアノ 後藤直美) による記念演奏が行われ、「愛の喜び」「チゴイネルワイゼン」が華やかに演奏されて、祝賀の宴を盛り上げました。

祝賀会では、初代校長の吉田堅治先生、創立10周年記念式典時の第6代校長の浜田卓良先生のスピーチもあり、参加者一同にぎにぎしく創立20周年を祝いました。

